

開催日時は正確ですが、曜日が誤っていました。ご訂正ください(8月19日)

2015年8月8日

日本広告学会 関西部会 会員各位

日本広告学会 2014学会年度第6回関西部会 開催のご案内

関西部会運営委員長 妹尾俊之
(近畿大学 経営学部)

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1

事務局メールアドレス：jaa.kansai@bus.kindai.ac.jp

猛暑の候、早いもので、2014学会年度の最後、第6回目の関西部会のご案内となりました。今回はゲスト・スピーカー2人、会員1人の研究報告を行います。

関西発祥の森下仁丹は戦前、「広告益世」をモットーに数多くの斬新な広告を展開しました。その1つ、ブランド・シンボル入りで通りや住所を案内する町名表示板広告は、戦災が限定的にとどまった京都で今日なお現役として親しまれています。これを愛好する「京都仁丹樂會」は、京都における実態調査と保護活動を行うとともに、同様の町名表示板が、実は東京市にも9万枚以上寄贈されていた新事実を発見しました。この経緯を、学識経験者として関わった井出文紀様（専門はアジア経済）にご報告いただきます。

林功様は、2007年に博報堂からJARO（日本広告審査機構）に出向し、今年4月まで苦情案件の処理をはじめ広告の適正化に携わってきました。この8年間のJAROでの経験を通じて感じた、広告と倫理、媒体社の責任、自主規制機関の可能性と限界、行政機関との付き合い方などについて忌憚のないご意見を伺います。

象印マホービン元宣伝部長である栗津重光会員は在職中、同社の広告戦略の特徴であるテレビ番組1社提供を推進なさいました。今日では極めて珍しくなってしまったメディア戦略ですが、その意義を改めて考えます。

10月からは2015学会年度に入ります。今年は10月23日（金）から25日（日）に京都産業大学で第46回全国大会が開催されます。関西部会はその後、11月以降に第1回を開催する予定です。

記

日時 2015年9月4日（金） 14:30～18:00

※通常より開始が30分遅くなっています。

※早くお着きになってセキュリティが解除されていなかった場合、13階の受付でお待ちください。

会場 大広大阪本社 12階 BC 会議室 （裏面地図参照）

研究会内容

① 井出文紀様（近畿大学／ゲスト）

「戦前における仁丹の町名表示板広告：京都、東京の設置状況とその経緯」

② 林功様（博報堂OB／ゲスト）

「広告の適正化：8年間のJAROでの経験に基づいて」

③ 栗津重光会員（大阪樟蔭女子大学）

「テレビ番組1社提供の経緯と意義」

懇親会：研究会終了後、近傍で開催。会費 5,000 円。
懇親会へのご出席は、予約の都合上、9月2日（火）までにお済ませください。

会場案内 大広大阪本社



〒530-8263 大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー 12階 BC 会議室
電話：06 (7174) 8111 (総合案内) FAX：06 (6202) 8527

アクセス

地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅より徒歩 3 分
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅より徒歩 3 分
京阪中之島線「大江橋」駅より徒歩 2 分

以上